

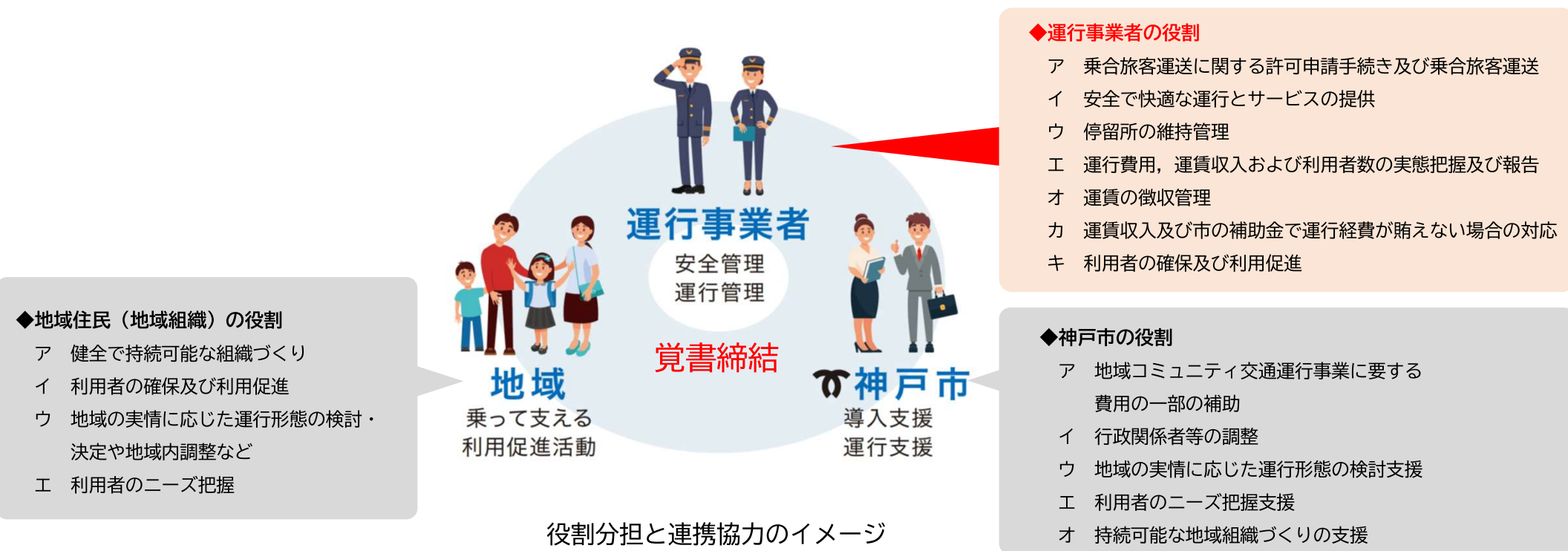
はじめに

神戸市では、既存の公共交通では十分にサービスが行き届かない等、地域の生活交通に課題を抱えている地域において、地域住民が主体的に取り組む地域コミュニティ交通の導入を支援しています。

神戸市地域コミュニティ交通支援制度

地域の実情に応じた多様な地域コミュニティ交通の実現に向けて、

地域・運行事業者・神戸市が適正な役割分担のもと、互いに連携協力しながら取り組む活動を支援します。



神戸市地域コミュニティ交通支援制度（運行支援）

神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、運行態様（路線定期運行・デマンド運行）に応じて、それぞれ下記の考え方による運行支援を行います。

【路線定期運行】

- ①1日あたりの目標利用者数（乗って支える目標）を設定し、目標に応じた適正な運行形態（車両タイプ・車両数）で運行
- ②運行経費から運賃収入を差し引いた欠損補填



- ③地域区分に応じた支援
 市街地：運行形態に応じた限度額設定
 （収入が運行経費の5割を3年連続下回らないこと）
 田園地域：運行経費の上限75%

地域区分	市街地			田園地域
	車両タイプ	車両数	限度額(年間)	
運行支援	タクシー車両	1台	350万円	運行経費の75%上限
		2台	700万円	
	バス車両	1台	750万円	
車両支援	3/5かつ1,200万円まで			100%

【デマンド運行】

- ①運行毎の運行単価を設定する
- ②地域区分に応じて運行単価の一部を支援
 市街地：運行単価の上限50%（年間補助限度額：350万円）
 田園地域：運行単価の上限75%（年間補助限度額：525万円）
- ③乗合率に応じた割引運賃（割勘運賃）を設定
- ④市指定のWeb予約システムを導入（市が調達し、貸与する）



- ⑤目標乗合率と最低乗合率として下記の乗合率を設定
 目標乗合率 2.0
 最低乗合率 1.3

塩屋地域「しおかぜ」

(山陽タクシー(株))

狭隘な道路も運行可能な小型車両による
路線定期型の乗合タクシー

(運行内容)

車両：ワゴン型車両 (定員9名) × 2台

日時：平日・土曜 (日祝運休)

9時～19時 (土曜は～16時) 20便/日

運賃：大人300円、小人200円

(利用者数) **33,399**人/年 (116.3人/日)



篠原伯母野山地域「おばのやま号」(東京・日本交通(株))

利用者の予約に応じて運行する

デマンド型の乗合タクシー

(運行内容)

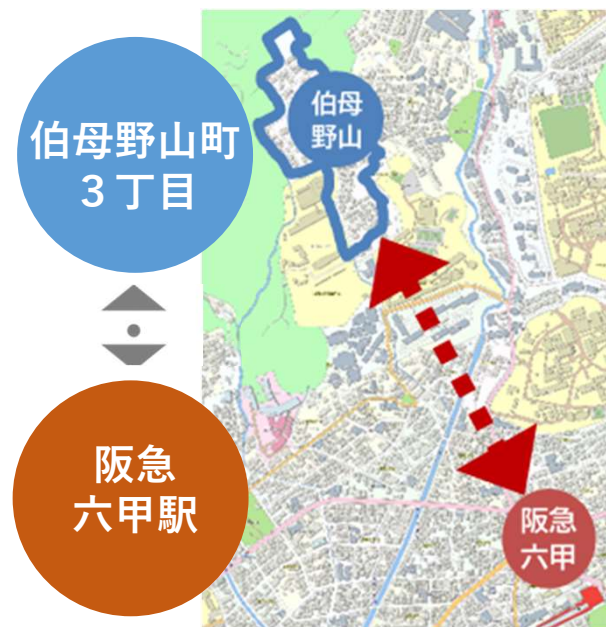
車両：セダン型車両 (定員4名)

日時：平日/10時~15時 (毎時1便)

運賃：550円 (1名利用時)

300円 (2名乗合時)

200円 (3名以上乗合時)



デマンド運行に導入する標準的な予約システム



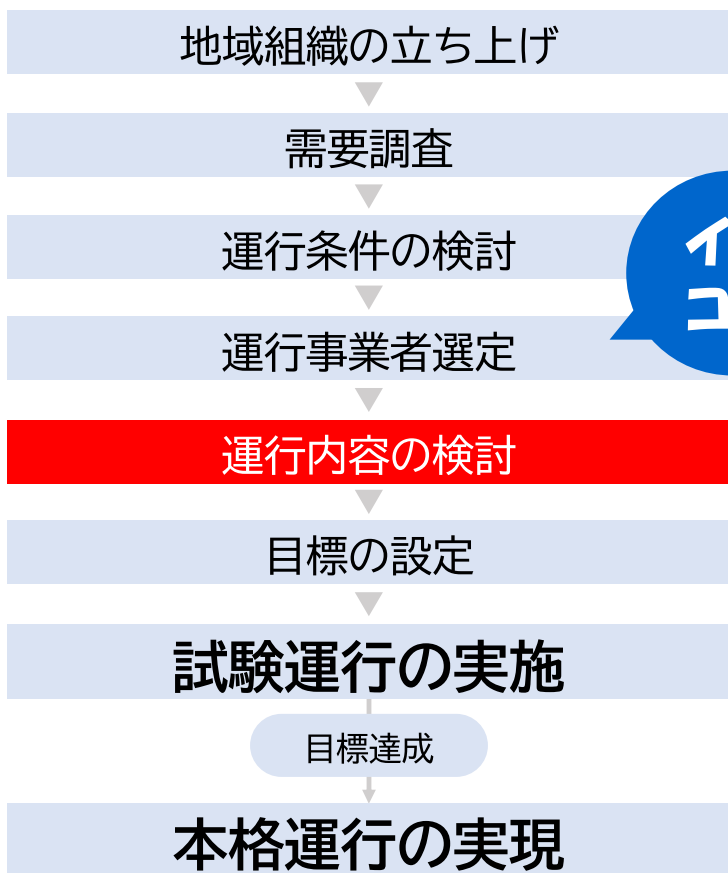
他の利用者の予約状況が表示されます

(利用者数) **1,774**人/年 (運行回数) **1,020**回/年

神戸市地域コミュニティ交通支援制度

神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、地域住民、運行事業者、神戸市が連携協力しながら取り組む地域コミュニティ交通の運行実現に向けて、取組の各段階に応じて必要な支援を行います。

■取組の進め方



運行内容の検討・決定

地域組織・神戸市・運行事業者の3者で、運行内容の詳細を決定します。
※検討の結果、プロポーザルで提案いただいた内容から変更となる可能性があります。

【定期的な会合の様子】

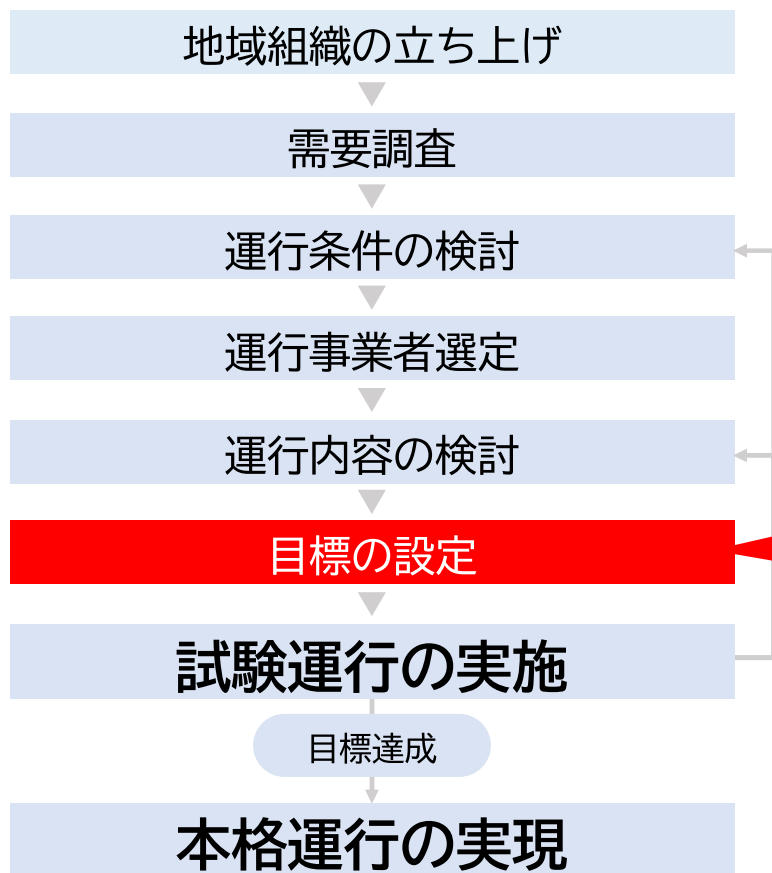


※月1回程度開催される地域組織の会合に必ずご参加いただきます。

神戸市地域コミュニティ交通支援制度

神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、地域住民、運行事業者、神戸市が連携協力しながら取り組む地域コミュニティ交通の運行実現に向けて、取組の各段階に応じて必要な支援を行います。

■取組の進め方



目標利用者数の設定

【路線定期運行】1日あたりの目標利用者数を設定します。

各運行段階における運賃収入の目標は下表のとおりです。

	運賃収入の目標	
	市街地	田園地域
試験運行（3ヵ月間）	運行経費の3割	運行経費の1割
試験運行（6ヵ月間）	運行経費の6割	運行経費の2割
本格運行	運行経費の5割以上	運行経費の25%以上

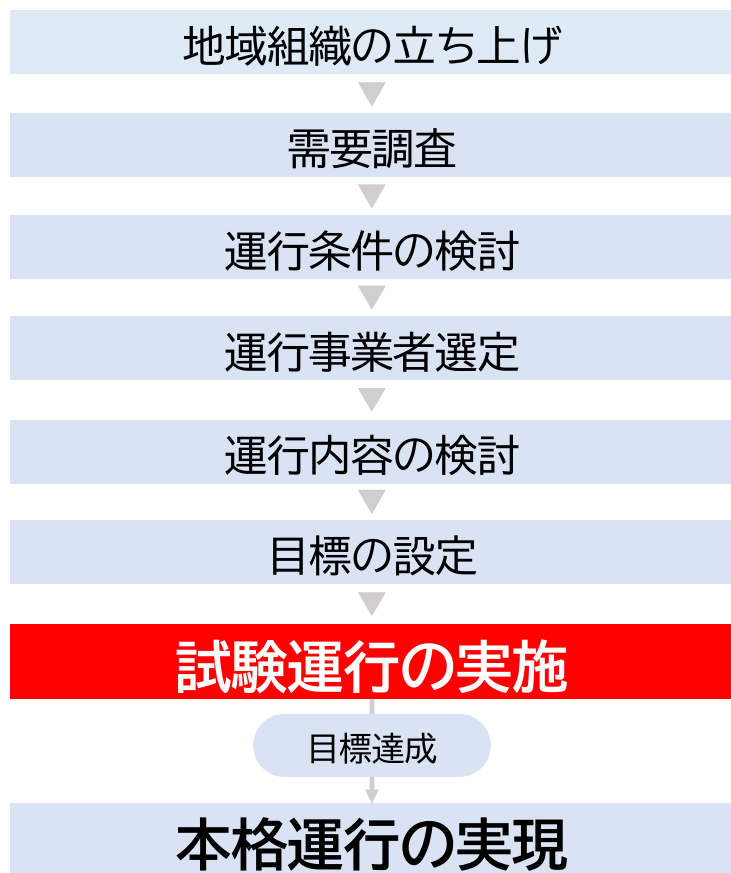
【デマンド運行】目標乗合率と最低乗合率として下記の乗合率を設定します。

目標乗合率 (最低乗合率)	市街地・田園
	2.0 (1.3)

神戸市地域コミュニティ交通支援制度

神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、地域住民、運行事業者、神戸市が連携協力しながら取り組む地域コミュニティ交通の運行実現に向けて、取組の各段階に応じて必要な支援を行います。

■取組の進め方



運行事業者への支援①：試験運行支援

試験運行に係る経費から運賃収入を差し引いた欠損を補填

【対象経費】

- ・ 運行経費
- ・ 試験運行期間中の車両償却費
- ・ バス停設置費の工事等
- ・ 車両サイン・音声合成費等
- ・ 時刻表作成費等

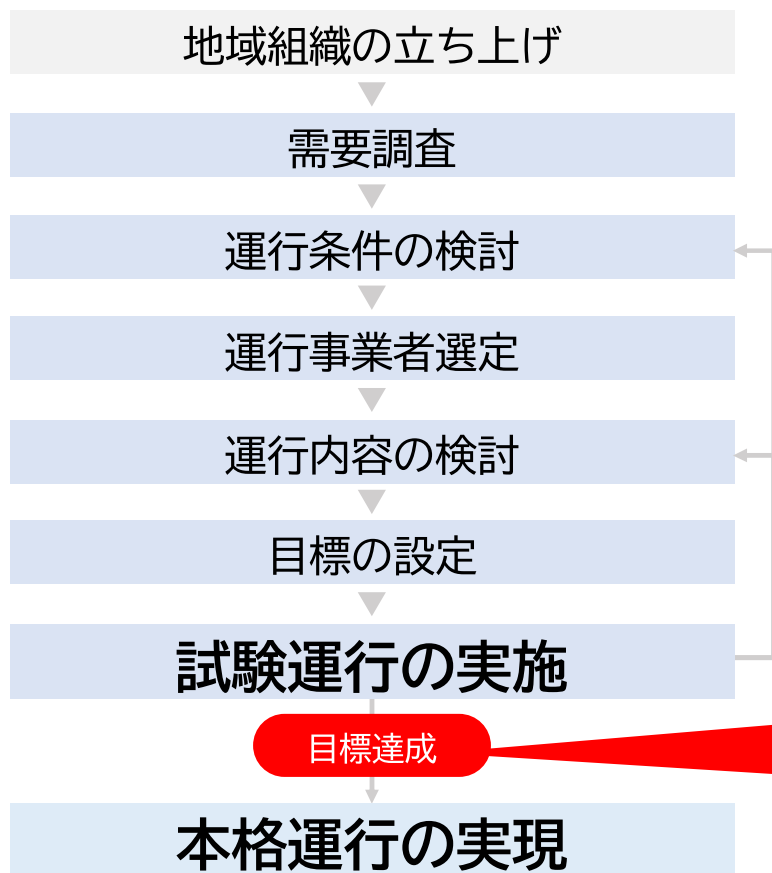
【補助限度額】

期間	運行形態	市街地	田園地域
3か月	デマンド運行	1,900千円	2,350千円
	路線定期（1台）	3,450千円	3,800千円
	路線定期（2台）	4,850千円	5,550千円
6か月	デマンド運行	2,250千円	3,150千円
	路線定期（1台）	2,800千円	4,200千円
	路線定期（2台）	4,600千円	7,400千円

神戸市地域コミュニティ交通支援制度

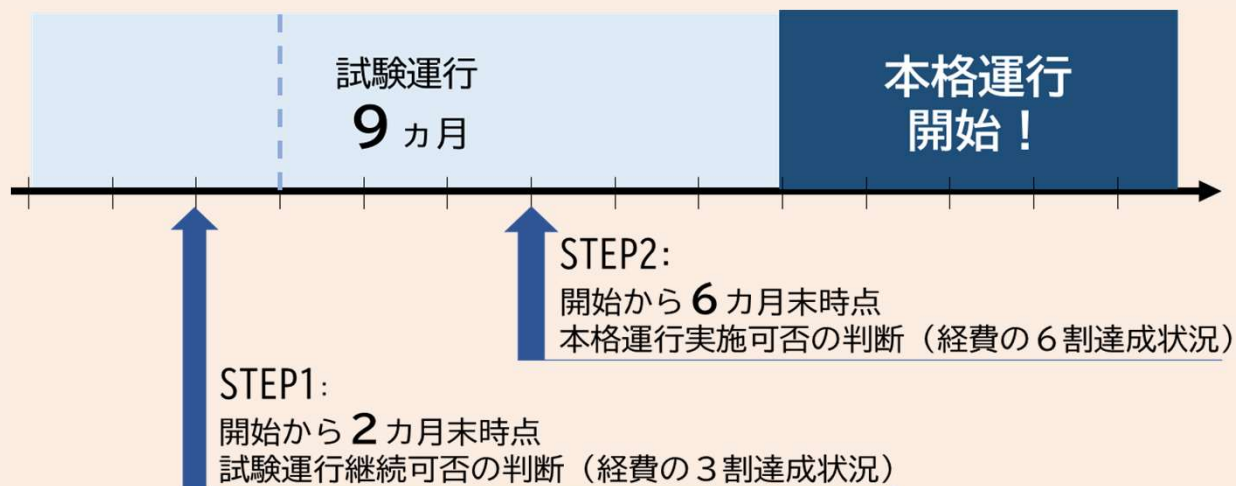
神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、地域住民、運行事業者、神戸市が連携協力しながら取り組む地域コミュニティ交通の運行実現に向けて、取組の各段階に応じて必要な支援を行います。

■取組の進め方



試験運行から本格運行へのステップ

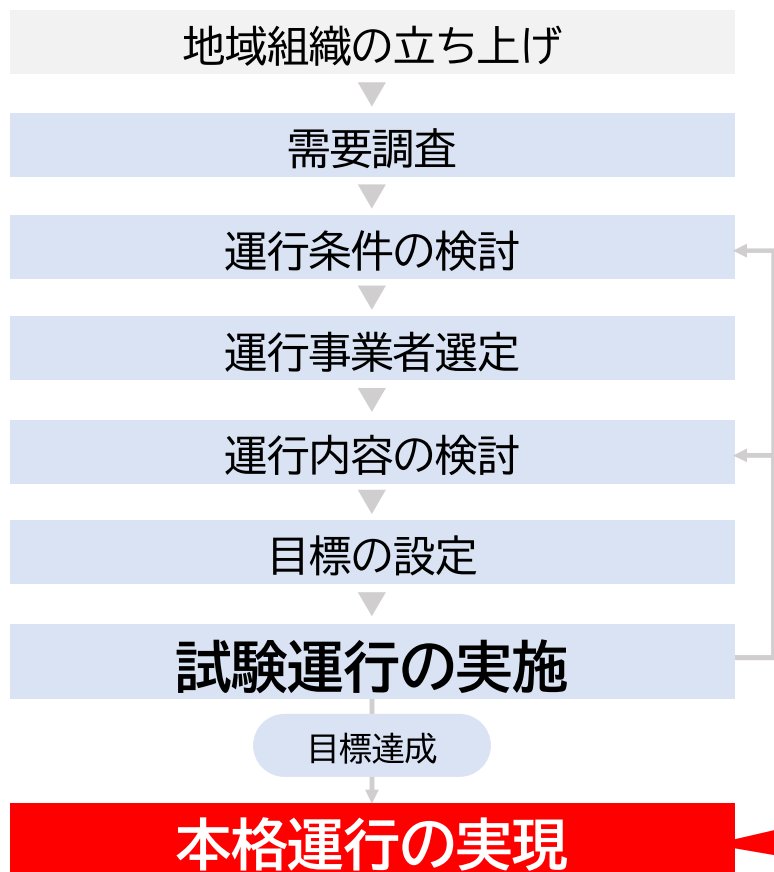
- ・試験運行は9カ月間(3カ月+6カ月)実施
- ・期日までに目標値を達成すれば切れ目なく本格運行を実施



神戸市地域コミュニティ交通支援制度

神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、地域住民、運行事業者、神戸市が連携協力しながら取り組む地域コミュニティ交通の運行実現に向けて、取組の各段階に応じて必要な支援を行います。

■取組の進め方



運行事業者への支援②：本格運行支援

本格運行に係る経費※から運賃収入を差し引いた欠損を補填
※車両費は除く

スライド3ページ参照

運行事業者への支援③：車両費支援(市街地)

本格運行に使用する車両の購入（改造）費用の一部を補填 ※限度額12,000千円
【計算式】

- ①試験運行時に購入し、引き続き本格運行で使用する場合
：車両の購入及び改造等に要した経費×本格運行開始時における車両の残耐用年数/5
- ②本格運行開始後、車両を更新する場合：車両の購入及び改造等に要する経費の3/5

運行事業者への支援④：立ち上げ支援

停留所本体及び設置費用、運輸局申請費用の一部を補填